

適齢診断の「空白の3年間」に、 確かな安心を。



高齢化・人手不足問題に向き合い、運転寿命の延伸を目指す

ドライバーの認知機能を日常的に可視化、 重大事故リスク対策「MOGI」

⚠️ NASVAの診断だけで十分と言えますか？

3年に1回の適性診断は義務ですが、健康状態や認知機能はその間にも変化します。
「加齢による判断力の低下」「疲労蓄積」など、
空白の3年間のリスク管理こそが、これからの安全対策の新基準です。

✓ 解決策：認知機能チェックアプリ「MOGI」

日本テクトシステムズが提供する「MOGI」は、iPadを用いて、短時間で高精度な
認知機能チェックを行うアプリです。義務化されている診断の「間」を埋め、
日々の健康管理の一環として、ドライバーの脳の健康状態を「見える化」します。



事故リスクの低減

変化を早期に発見し、
健康指導に活かして事
故を未然に防止。



信頼性の向上

「科学的根拠に基づい
た安全管理」を社会へ
アピール。



健康経営の促進

ドライバー自身の健康
意識を高め、長く働け
る環境作り。

NASVAの補完ツールとして選ばれる理由

1 公的に認められている確かな検査内容

公的機関で採用実績のある検査手法をベースに開発。
医学的知見に基づいたチェックツールであるため、
運行管理者様も安心して推奨いただけます。

2 科学的根拠に基づく評価指標

蓄積されたデータとアルゴリズムにより、客観的な数値で認知機能を
評価。「なんとなく元気がない」といった主観ではなく、
データに基づいた的確な指導が可能です。

3 現場に負担をかけない操作性と管理

【ドライバー】 高齢者でも直感的に使えるタッチ操作。
【管理者】 クラウドで全ドライバーの結果や経時変化を一元管理。

操作はとても簡単

- 検査の進行は、タブレットから流れる音声が行うため、
進行速度や音量調節など個別対応が可能
- 実施時間は、15~20分



結果表示

[参考点数]



MOGI点数	0点 - 35点	36点 - 61点	62点 - 100点
MMSE点数	23点以下相当	24点 - 27点以下相当	28点以上相当
MMSE点数の解説	認知症の恐れがあります。 認知症であるかどうかについては、医師による診断によります。医師やご家族にご相談されることをお勧めします。	認知機能低下の疑いがあります。 認知機能は、ストレス、睡眠状態などの生活習慣の影響を受けるといわれています。日常生活を見直し、再度認知機能チェックを受けてみてはいかがでしょうか。もしご気になるようでしたら、かかりつけ医（または専門医）や自治体窓口への相談してもよいかもしれません。	認知機能の低下は認められませんでした。 認知症を予防するために、生活習慣を見直しつつ、早期対応を目指して、定期的に認知機能チェックを受けることをお勧めいたします。



日本テクトシステムズ株式会社

〒150-6140 東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号
渋谷スクランブルスクエア



お問合せHP